

照葉樹林文化研究会 2011 in Osaka プログラム

照葉樹林文化要素としての癒し植物の文化多様性をめぐる研究 サントリー文化財団助成
東アジア原産観賞植物の栽培化と野生化に関する保全生物学的研究 科研 共同研究会

日時 2011年12月3日(土) 13時～17時

場所 大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス 国際学術交流会館 特別会議室

講演会

1. 特別講演

- 中国西南部の照葉樹林帯を起源とする野生バラと栽培バラ
岐阜国際園芸アカデミー 上田善弘

2. 研究フラッシュ

- 照葉樹林帯における樹に関する精神文化の多様性
早稲田大学 児島恭子
- タケ造りの魔除け「鬼の目」にみられる形の多様性-タイ・ラオスの少数民族調査から-
大阪府立大学 大野朋子
- 九州西部における隠れキリシタン後裔の花文化
大阪府立大学 大形徹 + 新上五島町議 歌野 礼
- 癒し植物としてのオリーブについて、その文化的受容
国際日本文化センター・大阪府立大学 金子務
- 台湾中北部の雑穀栽培、タイヤル族とブヌン族の事例から
大阪学院大学 竹井恵美子

3. 研究報告 東アジア原産観賞植物の栽培化と野生化

- 東京と関西の緑地・庭園における観賞植物の野生化の現状
東京農業大学 山口裕文
- 紀伊半島におけるイノシシとアオノクマタケランの排他的関係
京都大学 梅本信也
- 鑑賞園芸植物アサガオ類の人為攪乱環境への侵入についての保全生態遺伝学的研究
秋田県立大学 保田謙太郎
- 観賞価値をもつ野生植物の日中個体群間の遺伝的差異の検出
九州大学 三村真紀子
- 日本原産ユリ科観賞植物と桜の繁殖手法
東京農業大学 鈴木貢次郎

企画検討会議 17時30分より（府大近くのレストラン）

連絡・問い合わせ先 東京農業大学バイオセラピー学科 山口裕文 h4yamagu@nodai.ac.jp